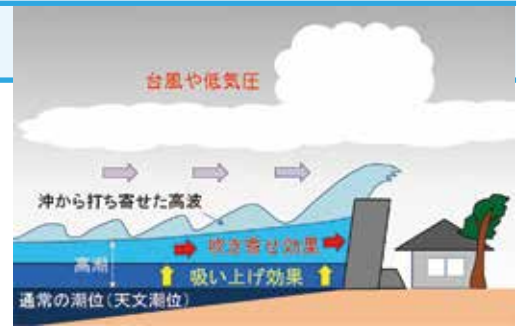


# 自然災害から身を守るために日頃から備えよう

## 台風接近時の高潮と高波

台風が接近すると「吸い上げ効果」・「吹き寄せ効果」も加わり高潮が発生します。

さらに、うねりを伴った高波が加わり、普段は波が来ない場所でも海水が押し寄せることがあることから、被害の拡大に十分な注意が必要です。



## 暴風時の高潮からの避難

高潮からの避難も早めの行動が重要です。

- ハザードマップなどで潮位に応じた浸水想定区域など、危険な場所を調べておく。
- 潮位の上昇はまだ先の時間でも、暴風が吹き始めるより前に立ち退き避難をする。

高潮警報へ切り替える可能性が高い高潮注意報は、暴風警報が発表されるタイミングで**高潮警報**として発表します。暴風警報は、暴風となる3～6時間前に発表するので、暴風となる前に避難しましょう。



久米島町防災ハザードマップ 久米島町防災ハザードマップは総務課で配布しています。



## 防災ハザードマップの使い方

まず、自分の位置を確認しましょう。

災害が想定される位置を確認しましょう。自分がいる場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。



災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう。

避難経路を地図で確認し、土砂災害や津波などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。

次に、近くの避難所を確認しましょう。

一番近い災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。



実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

